

明星茶屋のにぎわいを伝えるそうめん坂

伊勢街道を伊勢神宮へ東へ進み、上野集落をぬけて明星集落にさしかかる地点になだらかな坂道があります。この坂道を地元では「そうめん坂」と呼んでいます。江戸時代、この付近にそうめんやうどんが食べられる店がたくさんあったことが名前の由来です。実際、この付近の屋号に、ブンジャ、クマヤという店があり、そうめんを提供していたそうです。

上野から明星にかけては「明星茶屋」と呼ばれ、伊勢街道を歩く旅人向けの茶屋が多く建ち並んでいたと言われています。ちなみに、明星茶屋よりも後に茶屋ができたことから「新茶屋」という地名ができたともいわれています。

多い時には1年間で500万人もの人が伊勢神宮を目指したといわれる伊勢街道、そうめん坂という地名は江戸時代のにぎわいを今に伝えてくれています。



上：『伊勢参宮名所図会』に描かれた明星のにぎわい
店の軒で飲食する旅人が描かれているよ



左：現在のそうめん坂